

作成日:7月3日

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者:臼井

会議名: 平成30年度 第2回守山学区まるごと活性化プランCプロジェクト会議

日時: 平成30年7月3日(火)午後7時30分から

場所: 守山会館2階 図書室

出席者: 園田学区長、相宮代表、舟橋、千代、竹村、伴野、磯、竹中

出席者(行政): 守山会館 田中館長、臼井

使用資料: 行政懇話会学区提出議題、JAおうみ富士第6期中期活動計画、一里塚活性協議会の要望書に関する新聞記事、市政報告会資料、次期推進支援交付金制度の概要

議題

1. 平成30年度守山学区行政懇話会(7/6)学区提出議題について
2. JAおうみ富士守山支店の統合に伴う跡地利用について
3. 今後の市政の主な動きについて
4. 来年度以降のまるごと活性化事業について

会議要旨

内容

1. 平成30年度守山学区行政懇話会(7/6)学区提出議題について

・今年度は、守山駅周辺の渋滞対策、自治会館の老朽化等の支援のあり方を議題に挙げる。

【意見等】

・渋滞について、ほたる通りは通勤時間帯に歩行者が多く、車も走行しているため非常に危険である。
・自治会館への支援について、建替えを行った自治会もいくつかあるが、その他は昭和50年代のものがほとんどで、老朽化が著しい。既存制度の集会所建設等補助金では、補助率3分の1で上限100万円であり、不十分である。借り入れができなければ積立が必要であるが、できている自治会は数少ない。

2. JAおうみ富士守山支店の統合に伴う跡地利用について

・守山支店は本店等と統合される予定で、跡地について市とJAが協議中である。

・一里塚活性協議会が、一对の再生を求める要望書を市長へ提出した。

【意見等】

・跡地を利用して守山会館の機能充実を図るのもよいが、高齢化が進むと、そもそも会館へ行ける人も減るのではないか。それならば、地域の自治会館を充実させるべきである。

3. 今後の市政の主な動きについて

・6月2日の市政報告会にて、学校規模適正化、自治会の活性化と協働推進、まるごと活性化の推進等について報告があった。

【意見等】

・大規模自治会の在り方について検討とあるが、地域毎に歴史や特性があり、行政が主導で行うべきものではない。

・学校規模適正化について、そもそもこの問題は都市計画の問題であり、学校がこの状況ならば開発を規制すべきではないか。大阪市など事例はあるので参考にすべき。

4. 来年度以降のまるごと活性化事業について

・次年度の予算編成が始まる10月頃までには学区の意向をまとめる必要がある。

【意見等】

・これまで様々な取組を検討してきたが、当プロジェクトは、例えば市への提言という形でこれまでの研究の成果をまとめてはどうか。

⇒次回会議にて協議する。

決定事項

- ・次回会議にて来年度以降について協議・決定する
- ・次回 平成30年9月27(木)午後7時30分から

次回以降について

- ・行政等の動きについて
- ・今年度および来年度以降の取組について